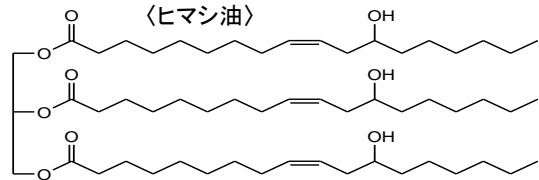
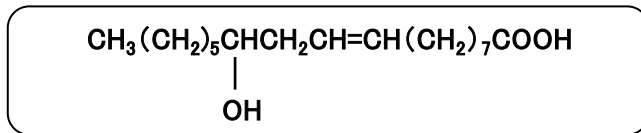


## 精製ヒマシ油

◆ 当社は、我が国ヒマシ油専門メーカーのパイオニアとして創立以来、ヒマシ油の品質の向上、および安定供給に不  
断の研究を重ねてきており、各種用途に幅広く利用されています。

● ヒマシ油は、ヒマ(トウダイグサ科)という植物の種子から得られます。この油は、脂肪酸とグリセリンとのエステル  
ですが、脂肪酸の約90%がリシノレイン酸(Ricinoleic Acid)であるため、他の植物油とは、異なったユニークな性  
状を示します。



● ヒマシ油は、淡黄色の粘稠な不乾性油で、脂肪族炭化水素系溶剤を除く、ほとんどの有機溶剤に可溶であり、特  
に含水アルコールにも可溶性を示すという特徴があります。

ヒマシ油は、ニトロセルロース、エチルセルロース、セルロースアセテートブチレート、ポリアミド、ブチル化メラミン  
(または尿素)ホルマリン樹脂、ロジン、シェラックなどには、可塑剤として用いるほど、良好な相溶性を示し、ポリビ  
ニールブチラル、塩ビ・酢ビ・ビニルアルコール共重合体、塩化ゴムに対しても相溶性があります。

● ヒマシ油は、優れた安定性、保色性、可撓性、顔料分散性、湿潤性、潤滑性、低温特性、電気特性、および生理的  
特性を有するために、そのままラッカー、レザー、印刷インキ、コーキング材、潤滑剤、文房具、化粧品、電気絶縁  
材料、医薬品などに配合使用されています。

● ヒマシ油は、保有するOH基、二重結合、およびエステル結合を利用し、多くの化学反応を行わせることができ、得  
られた生成物は、塗料工業、プラスチック工業、ゴム工業、建材工業、金属工業、および機械工業など広範な用途  
に向けられています。

品名	色相 ロビボンド5%インチ		水分 %	酸価 mgKOH/g	けん化価 mgKOH/g	よう素価 gI <sub>2</sub> /100G	水酸基価 mgKOH/g	備考	荷姿
	Y	R							
LAV	9以下	0.9以下	0.08以下	0.5以下	176~187	83~89	156~165	低酸価、低水分	17kgCN,190kgDM
特A (マルトクA)	9以下	0.9以下	0.15以下	1.5以下	176~187	83~89	156~165	低臭気、淡色	17kgCN,190kgDM
特A (カクトクA)	10以下	1.0以下	0.2以下	2.0以下	176~187	83~89	156~165	淡色	17kgCN,190kgDM
特A (ダイヤ)	12以下	1.2以下	0.2以下	2.5以下	176~187	83~89	156~165	低臭気	17kgCN,190kgDM
工1 (カクコウイチ)	20以下	2.0以下	0.2以下	2.0以下	176~187	83~89	156~165		17kgCN,190kgDM
エー (コウイチ)	20以下	2.0以下	0.2以下	4.0以下	176~187	83~89	156~165		17kgCN,190kgDM

● 共通一般性状 : 比重 (25°C/25°C) 0.959      屈折率 (n<sub>D</sub>) 1.477      粘度 (25°C) 680mPa·s  
流動点 -22°C      引火点 292°C      発火点 449°C



ヒマシ (種子)



ヒマ (植物)

### ヒマシ油の脂肪酸組成

脂肪酸		含有量(%)
パルミチン酸	16:0	0.5-1.5
ステアリン酸	18:0	0.5-1.5
オレイン酸	18:1	2.5-4.0
リノール酸	18:2	3.5-5.0
リノレン酸	18:3	0.5-1.0
リシノレイン酸	18:1, OH	87.0-91.0
ジヒドロキシ酸	18:0, (OH) <sub>2</sub>	0.5-1.5